

生涯学習支援事業報告

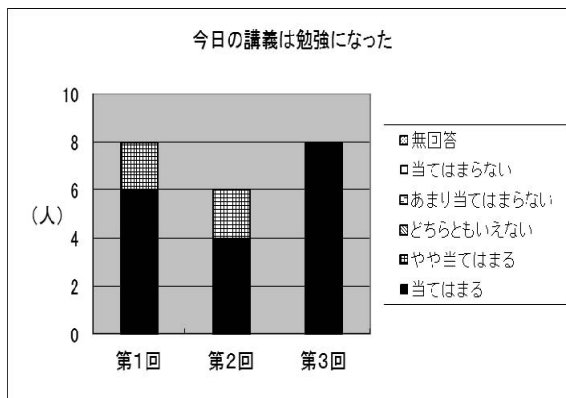
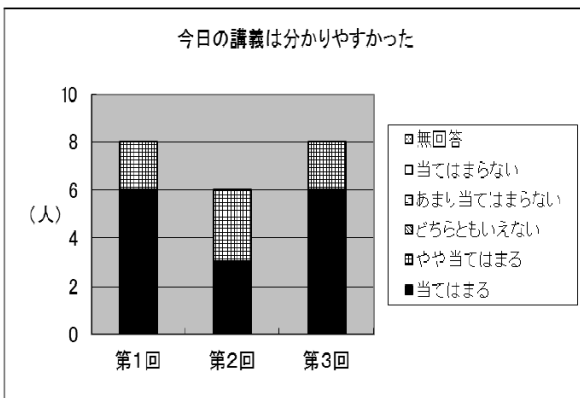
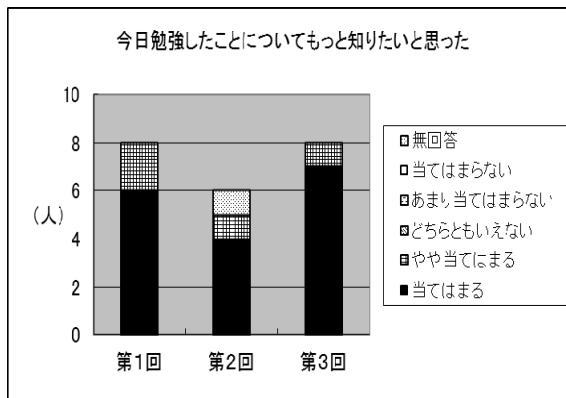
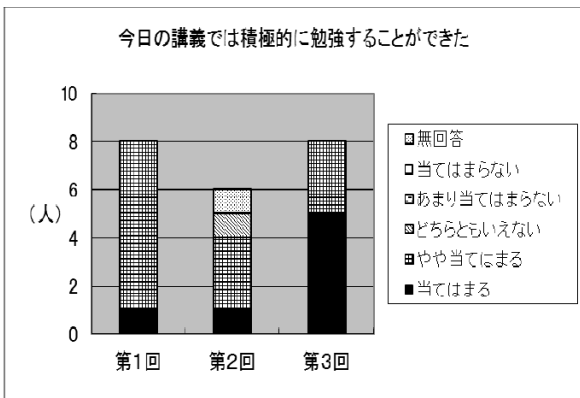
事業の名称	オープンカレッジ 「杜のまなびや」	事業代表者	田中 真理
目的	<p>地域社会に対する貢献の一環として、オープンカレッジを通じた知的障害者への生涯学習支援を行う。</p> <p>知的障害のある者が学習を通して社会人としての生活や個人の生活が豊かになり、当事者同士の交流が促され友人関係が広がることのみならず、学内受講生・企画運営スタッフ・講師が自身の専門性を社会に向けて発信することの意義や「学び」の意味を再考する。</p>		
対象者	知的障害者のある学外受講生13名、東北大学在籍の学部生・大学院学生12名		
内容	<p>(1) 講義題目：防災・ひと・絆 担当講師：谷口和也 准教授 2011/10/29</p> <p>【講義内容】 東日本大震災での経験を、今後のよりよい街づくり、地域の人と人との絆作りにつなげることをねらいとして、まずはそのとき何をしていたか、何を感じたかについてお互いの体験や気持ちを話し合い共有した。そのうえで、障害のある人とない人がそれぞれの特性を生かして相互に助け、助けられる関係を築けるような役割のあり方について議論を行った。</p> <p>【講義形式】 まず、アイスブレイキングを兼ねて、ゲームを交えながら自己紹介をした。次に、震災の被害状況や復旧のための取組みの映像を視聴し、受講生がそれぞれの体験について個人で振り返りを行った。その後、震災の状況や当日の行動などについて講師が質問し、受講生が YES か NO で二手に分かれる形式のゲームを実施して全体での振り返りを行った。続いて、各グループに分かれ、震災時に自分が人から感謝されたエピソードについてグループのメンバーと紹介し合うとともに、震災時のニーズや必要とされた役割について話し合った。</p> <p>その後、『シミュレーションゲーム』として、地域の様々な人々（障害者・高齢者・学生・けがをしている人・子どもなど）が震災時避難所に集まった場合、そのような人々それぞれがどのような役割を分担するかについてシミュレーションを行った。人々が抱えるなんらかの事情や問題に配慮しながら、その人に適切な役割を考えることを通して、グループのメンバーそれぞれが障害や能力などをどのように捉えているのかという価値観や、役割分担をするにあたってどのような能力や事情を重視するかということについて、お互いの意見を聞きあうことで考えを深めた。</p> <p>(2) 講義題目：語りを束ねることで見えてくること —調査をしよう— 担当講師：石井山 竜平 准教授 ①2011/11/19 ②2011/11/26</p> <p>【講義内容】 大学の研究で用いられている調査法を体験的に学ぶため、受講生同士が自らの言葉で発信するとともに、他者の話にしっかり耳を傾けるということをねらいとした「語り合いの時間」を設けた。「1年間で学んだことや教訓をみんなの共有の財産にしよう」をテーマとして設定し、受講生同士が互いの人生経験で得た思いや知恵を交換し合うことで、自己認識の深まりを目指した。</p> <p>【講義形式】 講義1日目は、まず、調査において必要となる「他者の話を聞くときの姿勢」について、スタッフがロールプレイの実演などを交えて説明した。その後、各グループに分かれて、メンバーそれぞれが「過去／現在／未来の自分について」語る時間を設けた。最後に、講義二日</p>		

	<p>目の「1年間で学んだことや教訓をみんなの共有の財産にしよう」というテーマに繋げるため、講師自らが「震災から学んだこと」について全体に向けて語った。</p> <p>講義2日目は、講義1日目の内容を踏まえて、グループ内で「1年間で学んだことや教訓について」語り合った。活動の実施に際しては各グループの凝集性を考慮し、語りがより引き出されるための工夫として、グループごとに個室を準備した。その後、各グループで話し合った内容を全体で共有する時間を設け、他者による語りを聞いてそれぞれの感じたことを語り合うことで講義全体のまとめとした。</p>				
実施場所	東北大学文科系総合研究棟				
スタッフ	川住 隆一 (東北大学大学院教育学研究科人間発達臨床科学講座教授)	人 数			
	谷口 和也 (東北大学大学院教育学研究科教授学習科学講座准教授)				
	石井山竜平 (東北大学大学院教育学研究科成人継続教育論講座准教授)	10名			
	滝吉美知香 (東北大学大学院教育学研究科教育研究支援者)				
	野崎 義和 (東北大学大学院教育学研究科博士後期課程)				
	横田 晋務 ()				
	佐藤健太郎 (東北大学大学院教育学研究科博士前期課程)				
	佐藤 真理 ()				
	永瀬 開 ()				
	松崎 泰 ()				
受講生	参加者			のべ人数	
	学習者 14名：第1回 12名 第2回 13名 第3回 12名			学習者 37名	
	共同学習者 9名：第1回 8名 第2回 6名 第3回 8名	共同学習者 22名			
スタッフの活動内容	<p>(1) 2011.6.10 スタッフの顔合わせ、年間スケジュールの確認</p> <p>(2) 2011.6.17 講師の決定に関する検討、受講者に送付するパンフレットの検討、研究内容の検討</p> <p>(3) 2011.7.1 講師との打ち合わせ内容の確認</p> <p>(4) 2011.7.8 講師との打ち合わせ内容の確認</p> <p>(5) 2011.7.15 「スタッフ経験」について国内の先行研究を概観</p> <p>(6) 2011.7.22 「スタッフ」と「動機付け」をキーワードにオープン・カレッジに関連する先行研究を概観。杜まなスタッフ経験者の学びに焦点化することが決定</p> <p>(7) 2011.9.9 受講生の決定、第49回特殊教育学会シンポジウムの発表検討、研究の問題と目的の検討</p> <p>(8) 2011.9.30 研究の問題と目的、方法論の検討</p> <p>(9) 2011.10.14 準備の確認、直後アンケートの内容検討</p> <p>(10) 2011.10.24 講座第2回目の内容検討</p> <p>(11) 2011.10.28 講義第1回目の流れについての確認</p> <p>(12) 2011.11.11 講座第1回目の振り返り、講師の事後インタビューの確認、講座2・3回目の流れについて確認</p>				



- (13) 2011.11.18 講座第2回目の流れについて確認、講座第2回目の内容検討
- (14) 2011.11.25 受講者事前面接の振り返り、講座第2回目の振り返り、第3回目の流れの確認
- (15) 2011.12.16 講義第3回目の振り返り、面接対象スタッフ経験者の確定
- (16) 2012.1.20 受講者の直後アンケートの内容確認、報告書の内容検討
- (17) 2012.2.7 報告書の内容検討
- (18) 2012.2.14 報告書の内容検討
- (19) 2012.2.24 来年度の企画・運営に関する協議

*その他、受講生へのインタビュー、講師との講義に関する事前打ち合わせ、講師へのインタビューを複数回行っている

学習者による
オープン
・カレッジ
についての
感想



東北大学 大学院 教育学研究科
オープンカレッジ 2011

杜のまなびや

「杜のまなびや」 ご案内

● 東北大学で、大学の先生の講義を聞いて学ぼう！
● 大学生・社会人・障害のある人・ない人…、
様々な人と一緒に学ぼう！

大学の先生の講義を聞くことや、みんなで話し合うことをします。
いろいろなことを学んでみたいという人は、ぜひお申し込みください。

■日時	第1回 10月29日(土)	10:00～12:15 (最初に開講式をします)
	第2回 11月19日(土)	14:00～16:00
	第3回 11月26日(土)	10:00～12:15 (最後に開講式をします)

■会場 東北大学 文科系 総合研究棟
(パンフレットの後ろにある地図をみてください)

■定員 20名ほど(先着順です)

■持ち物 筆記用具(えんぴつ、消しゴム)

■参加費 無料

■しめ切り

先生方と講義の紹介

第1回 10月29日(土) 谷口 和也 先生
「防災・ひと・絆」
13月11日の大地震のときみなさんはどこで何をしていましたか？
「あの時」を思い出し、よりよい街づくり、人と人の絆づくりを話し合いましょう。東北工業大学の先生にもご協力いただき(予定)、地震に強い部屋作りも考えます。

第2回 11月19日(土)
第3回 11月26日(土) 石井山 竜平 先生
「録りを求めることで見えてくること 一調査をしよう」
大学では、新たな事実を明らかにするために、さまざまな調査が取り組まれています。
皆さんでそれをやってみませんか。

各回の内容(予定)

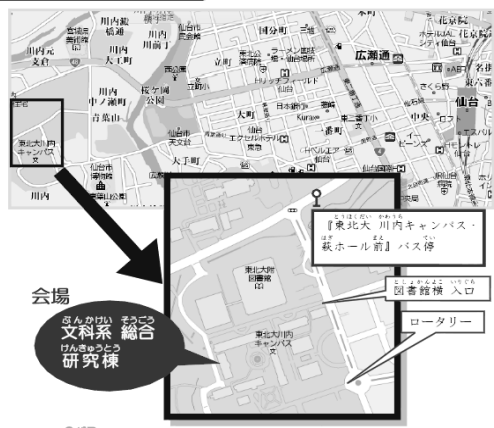
■講義・・・先生の話を聞いたり、資料をみたりします。
体を動かす活動をすることもあります。

■話し合い・・・グループで話し合いをします。

■まとめ・・・話し合ったことやわかったことを書いたり、発表したりします。

■アンケート・・・簡単な質問に、答えていただけます。

会場までの地図とバス



●バス

- 【乗車】 仙台駅より 仙台駅南バス 仙台駅前バス 仙台駅前バス(乗車9番)
 【青葉通・工学部経由 動物公園循環】行き
 【東大次】行き
 【蔵前山】行き
 【青葉谷】行き
- 【下車】 東北大 川内キャンパス・蔵ホール前
- 【徒歩】 4分ぐらいで会場です。

●バス
1. 【乗車】 仙台駅より 仙台駅南バス 仙台駅前バス 仙台駅前バス(乗車9番)
 【青葉通・工学部経由 動物公園循環】行き
 【東大次】行き
 【蔵前山】行き
 【青葉谷】行き

2. 【下車】 東北大 川内キャンパス・蔵ホール前

3. 【徒歩】 4分ぐらいで会場です。

●お問い合わせ・申込先
東北大学「杜のまなびや」事務局 (代表: 田中 真理)
 問合せ担当: 野崎 義和 電話・FAX: 022-795-6148 メール: o9pd1502@s.tohoku.ac.jp
 住所: 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院教育学研究科 人間発達臨床科学研究室
 連絡先: 渡辺恭子さん

Fig.1 「杜のまなびや」パンフレット